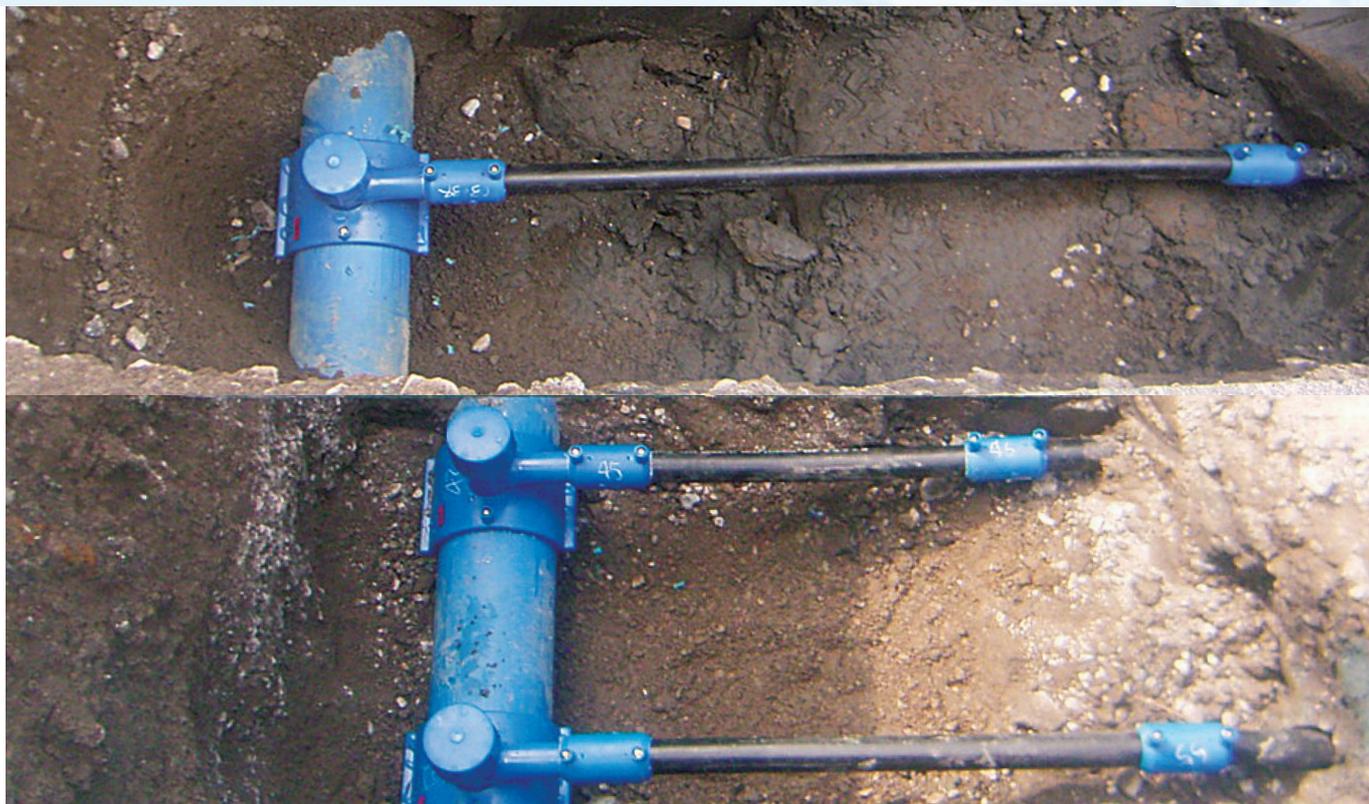


## 給水配水一体化ご採用事例

埼玉県 三郷市



三郷市は埼玉県の東南端に位置し、東に江戸川、西に中川と水に囲まれた土地で、北は吉川市、西は草加市と八潮市、南は東京都葛飾区、東は千葉県松戸市と流山市に接しており、東西5.6km、南北9.5kmの低平地で平坦な地形になっております。

市内には、鉄道駅としてJR武蔵野線の三郷駅と新三郷駅、つくばエクスプレスの三郷中央駅があり、自動車道としては、三郷ジャンクションを中心に首都高速道路や常磐自動車道、東京外環自動車道が通っており、都心から20km圏内という地理条件に加え、このような交通の利便性の高さから、大規模開発が次々に行われており、令和5年3月31日時点での人口は142,177人となっております。

三郷市では、平成14年度以降、導・配水管整備において、耐震管を採用しており、令和4年度末における導・配水管の総延長は約604kmで、その内、耐震管の延長は約257kmであり、耐震化率は42.5%となります。

また、耐震管の管種については、口径200mm以上をダクタイル鋳鉄管(GX形・NS形)、口径150mm以下は水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144)を採用しており、埼玉県下でも早くから水道配水用ポリエチレン管を採用しました。

給水管については、口径25mmは水道用ポリエチレン1種二層管(JIS K 6762)、口径50mm以上150mm以下は、水道配水用ポリエチレン管(JWWA K 144)を採用し、本管が水道配水用ポリエチレン管の場合には、EFサドルの融着接続を行っております。

また、口径25mmの給水分岐では、平成24年度から水道用ポリエチレン1種二層管との接続もEF融着接続を採用しており、平成30年度からは、ポリエチレン管用金属継手において、WSA基準に適合した耐震強化型金属継手(WSA B 012)を採用するなど、配水管路だけではなく、給水装置も含めた一体的な耐震化に取り組んでおります。